



JAL不当解雇撤回ニュース

No 086号 2011.12.05
発行:JAL解雇撤回国民共闘事務局
連絡先:航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

11. 30 本社前行動報告 その1

JALの闘いは正義の闘い 私たちは支援します

11月30日寒風吹きすさぶ中、JAL本社前で不当解雇撤回を求める要請行動を行いました。支援して下さる方々と原告による熱い訴えがなされました。その後原告だけで、退社する本社の社員にビラを配り支援を訴えました。参加者は90名でした。以下、当日の訴えの内容をお知らせします。

人間らしい生活ができる雇用の保障を

＜全労連 事務局次長 井上さん＞



今回、登録型派遣等は原則禁止とする規定を削除する法案が国会に出されました。リーマンショックや大震災の教訓は、安定した雇用と人間らしいまともな生活ができる雇用を保証することだと思います。その点で、全ての労働者の力を合わせ、国民的な共同を作り、もう一度「派遣法抜本改正せよ」の声を、強めなければならぬと思います。その闘いとJALの闘いは密接不可分です。稻盛会長は解雇しなくてよかつたと認めたのに、こんなことがこのまま許されれば、この日本が解雇自由の国になってしまいます。絶対許されません。皆さん、運動の力で勝利判決を勝ち取り、JALに早期

解決を迫ろうではありませんか。

雇用破壊を許さない闘いを勝利させる

＜全労協 全国一般全国協 副委員長 遠藤さん＞

雇用が大事というのならば、政府の責任において雇用を守る社会でなければならない。行き過ぎた構造改革の中で、人々の雇用が破壊されてきた。勝手に解雇がされないように、長い間かかるて整理解雇4要件が確立されたが、たがが緩めばすぐに骨抜きにされる。だから何としてもJALの問題は勝たなければならない。今雇用破壊を許さない闘いの中心となっているJALの闘いを勝利させるためにも、皆さんと共に最後まで闘うことを決意します。



皆さんは正義の闘いをしています

＜民放労連 関東地連 特別執行委員 杉本さん＞

皆さんの闘いは素晴らしい。マスコミは全く報道しないが、マスコミがパイロットやキャビンアテンダントの悪口のキャンペーンをはれていない。それは皆さんが正義の闘いを



しているからです。今後もっともっと宣伝してほしい。安全を大切にしなければお客様は来ない。JALの労務政策を変えさせていく。職場が声を出せない要求を吸い上げて、知らせて広げて実現して行こうではないですか。そして解雇撤回をしていこうではないですか。



皆さんから受けた支援は支援でお返します

JAL の闘争を目いっぱい応援したい

全労協 全国一般 全労働者組合

少年写真社分会 見機さん

首を切る何の合理性もない JAL の問題、まだまだ知らない人たちがいるかもしれません。



私達がしなければならないこと、それはもっと運動を広げて、あらゆる労働組合の人達に力をあわせてもらうことだと思っています。JAL の闘争を目いっぱい応援したい。13, 4 年前、当時のコンチネンタルミクロネシア航空の仲間が首を切られそうになりました。その時に航空連の方々が応援してくれました。激励会に JAL の方々にもきて頂きました。受けた支援は支援で返しま

す。そしてこれからも皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。

空の上で働く仲間として応援したい

コンチネンタル航空 千田さん

98 年に成田ベース乗務員が 30 名位いましたが、一時的に閉鎖をされました。航空連や JAL の皆様に支援して頂き、おかげさまで 6 か月後に無事、正社員として、職場に復帰できました。



空の上で働く仲間として、コンチネンタル分会全員で、JAL の組合つぶしのための整理解雇の撤回に向けてご協力ををしていきたいと思います。頑張りましょう。



JAL 再建で会社ごと潰されたのは日東整だけ

日東航空整備争議団 泉 聖二団長

日東整争議団は今、東京争議団に加盟して運動を広げています。JAL という大企業の横暴を JAL だけでなく、明治乳業や三菱製紙・キャノン・日本赤十字社・リコー・ダイワハウスと、争議をしている多くの人たちと共に闘っています。

JAL の安全運航確立のために、JAL の親会社責任を明確し、私達を JAL グループの中で雇用を確保するよう闘っています。安全運航優先の JAL の再建を勝ち取るために、JAL 不当解雇撤回争議団、契約制客室乗務員の雇止め裁判と日東整の 3 つで、力合わせて闘っていきましょう。

